

2016年（平成28年）北海道山紀行



序章

・昨年の紀行文・序章の最後を引用しよう。

*今年で最後にしようと思っていた「北海道山紀行」がこんな形で終わってしまったので、何としても心残りである。当然来年のリベンジを考え始めている。

私を取り巻く諸々の環境、私の体力、それに走行距離20万kmにならんとしている愛車RAV4の調子次第である。

来年はちょうど10回目の北海道であり、ぜひ実現させたいと考えている。(H25年夏)

●そう 昨年の夏はあまりの寒さゆえに風邪をひき、途中で山紀行を断念して帰宅したのだ。今年はず年のリベンジの年である。

・今年に入ってからせっせと山に通い、体力も気力も十分鍛えてきた。走行距離が20万 km を越えて老朽化した愛車RAV4も走行距離4万 km に満たない同型の中古車に買い替えた。今年で最後になるかもしれない「北海道山紀行」の準備を着々と整えてきた。

・去年は花の時期を狙って6月～7月を目標に出かけたが、天候不順と寒さという最悪の歓迎を受けて風邪をひき熱を出して途中帰宅すると云う事態になって懲りたので、今年は花を若干犠牲にしても、天候安定で暖かい8月を計画した。

・狙いはほぼ的中したのだが、今年の夏は全国的な異常気象で、台風が大発生して次々日本を襲撃した。なんと北海道にも台風が3個も海から直接上陸・通過するという前代未聞の現象が発生した。そのうち2個の台風は直撃を受けてやり過ごしたが、3個目が上陸する前に這う這うの体で本州に逃げ帰って来た。それでも台風通過の合間には暖かい晴天があったので、ほぼ予定通りの山紀行が出来た。と云うよりは貴重な晴天の日は休養することなく、山に登ることを第一としたので、予定より早く、予定より多くの山に登ったこととなった。

・この3個目の台風は大型の台風で大雨を伴い、日高地方から上川地方を通過して稚内へ抜けるという最悪のコースをとった。日高地方、帯広地方、新得周辺、旭川周辺、名寄・幌加内から稚内への広範囲に大雨を降らせ、農作物、特にジャガイモ畑に甚大な被害をもたらせた。良く見ると被害を受けた地域のほとんどが私が今回通ってきた所であり、私はその前に本州に逃げ帰れたのでラッキーだったが、その地域で生活している皆さまにとっては憂うべき事態であり、早くこの異常気象がおさまって北海道に穏やかな日々が戻ることを祈るばかりです。